

第七十二回 『天間荘の三姉妹』と考える漫才



考  
え  
え  
マ  
ウ  
シ

ウマとシカの間にある世界。

弦楽器イルカ  ⇔ 友人



# 目次

第七十二回『天間荘の三姉妹』と考える漫才～G から U へ～ . . . . .	1
はみだしウマシカさん その20 . . . . .	4



## 第七十二回『天間荘の三姉妹』と考える漫才～G から U へ～

毎回思うけど、何か考えている時間が一番自由で、考えがまとまったら書かずにはいられなくて、でも書くことは妄想を文字に押し込んで削ぎ落とす苦痛もあって、最後に書き上げた物を読む達成感と、まあこんなモンかっていう諦観で終わる。

一銭の儲けにもならず、むしろ金と時間かけて業を積んでる。徳ならまだしもね。

YouTube みたいに、文章に広告料がつくアプリがあればいいのにね。俺はたぶんやらないだろうけど。

ここ、どうでもいいね。

『天間荘の三姉妹』って映画を観て。昭和の文芸映画みたいなタイトルと重いテーマを、わざとファンタジー多めの演出で中和してる作品。またのん主演だけど。

いろいろ考えさせられたんだけど、是枝監督『ワンダフルライフ』との比較をちゃんとしてるレビューがないから、まずはそこから書きたい。

20 年以上前の映画で今更だけど、『ワンダフルライフ』は映画や文化の存在意義について、理屈じゃなく自然に理解させる良作だった。

死後の世界に旅立つ前の 7 日間に、自分の人生で最も大切なワンシーンを選んで、その映画を撮影する世界で、撮る側と撮られる側の人間模様が交錯するメタファンタジー映画なんだけど。

この映画の白眉は、全体の半分を占めるドキュメンタリー部分。つまり、年老いた俳優たちが、大切なワンシーンを選ぶために人生を振り返り、そのシーンを自分または他人が演じて、最後に本人が観て、成仏する。その穏やかな表情がリアルで説得力がある。これが遺作となった俳優もいるから、余計考えさせられる。

(今は生前動画を流す葬儀もあるみたいだけど、こういうビジネスもありかなとさえ思うよ)

ただ逆にこの映画の難しいところは、残り半分のフィクション部分。今や名の知れた俳優の無名時代だから演技が若いのもあるけど、ノンフィクションのドキュメンタリー部分と完全には融合してない。

もちろんだキュメンタリーだけでは娯楽映画として引きが弱いからフィクションを付けたんだと思うけど、どっちかが観たい人にはどっちかが邪魔になるくらいの違和感もあった。

つまり、生と死の境い目を、フィクションとノンフィクションを織り交ぜて描いた手法だけど、フィクション部分の弱さが目立ってしまう作品でもあった。

そこで俺が思ったのは、もしフィクション部分に予算をかけて名優を起用した『ワンダフルライフ』を撮ったら、どんな映画になったんだろう。

それが、『天間荘〜』だなと思った。

まず、災害というテーマを描く難しさに対して、『天間荘〜』は実際の被災地にゆかりの深い俳優を起用することで、強い説得力を持たせていると思った。

ファンタジー多めで古めかしい部分も、重いテーマとのバランスを取るための演出だと思った。(間違っても、起こった震災を止めたりなかったことにしたり口囁み酒の話ではない。ここ無意味な伏線だから)

一点、惜しいと思ったのは、生と死の境い目にある世界が美しすぎて欠点が少ない点だ。

不遜ながら俺だったら、一度死んだ人々は痛覚だけでなく味覚も触覚も嗅覚もない、表面上幸福そうに見せながら他者の温もりや美味しさを感じることもない、という事実を後半に吐露するシーンを作ったら、この世界の残酷さがより際立ったかな、と思う。

美しすぎるが故に、無感覚の空虚さを痛感せずにいられない。

そのバランスを整えてたらなんかの賞獲ってもおかしくないと思うんだけど残念だね。ゆったりとしたいい映画だったよ。ついでに『天間荘〜』のキャストで令和版『ワンダフルライフ』撮ったら絶対面白いと思った。完全な妄想だけど。

改めて思うのが、俺にとってのタイパって、単に面白いとか共感できるとかじゃなくて、発見や気づきがある物だと思う。例えば前に言ったカズレーザーの番組は毎回、発見がある。

集団から隔離されるとアミリンって脳内物質が減少して、集団に戻るとアリミンが回復する研究とか、集団でいると快樂物質が出て思考停止やパニックが起こる仕組みとか。

考えさせられるし、まさにボヤ祭りでボヤってる現代人を的確に捉えてると思った。

寿司ペロペロとか、秩序を守らない行為に対して腹を立てるところまでは当然だし、有害物質まいたりエスカレートしないような社会にしていける必要はあるけど。

ただ感情から出た言動を、理屈と勘違いして快樂にふけってる己のムシ考さを自覚しないと、簡単に犯罪者に騙されるよ。

だってペロペロが衛生的にどうって言っても、もし橋本某奈ちゃんとか某 TS がペロペロしてたら、聖地巡礼つつみんな行くでしょ。口囁み酒をあれだけ奉った国民性

で、そこ言い訳は通用しないよ。

なんでこんなくだらない言いがかり書くかって言うと、衛生的にどうかと本気で騒ぐなら、福島原発処理水を海洋放出する件も同じくらいの熱量で拡散しなきゃ、筋が通らないからだよ。

一部の放射性物質を除去できない原発処理水の海洋放出に4割以上が賛成してる（調査もある）国民が、寿司ぺろぺろだけ騒ぐのは、ただ長い物に巻かれるご都合主義でしかない。

ぺろぺろと同じくらい処理水育ちの寿司大丈夫かって話になると途端に口をつぐむから、気味の悪い口噛み酒とかブラボーをありがたがるんだよ。ブラボー余計だけど。

そういう二枚舌でぺろぺろしてんのは他ならぬ自分だってことを考えさせない教育が、気味の悪いバイトで無自覚に犯罪する人間や、表面的なコメンテーターを育ててるんだと思うよ。

ところで、投資や預金と、防犯カメラや見回りなどの防犯対策サービスがセットになってる商品ってないのかね。ご時世的に出したら金持ちに売れると思うけどね。

とにかく自分が被害者にならないように気を付けるしかないね。

あと、笑いじゃなくて気付きの漫才書いたから、久々にはみだしとくわ。

演技で笑わせるだけの漫才はもう飽きたから、二人で紙を読みながら漫才したら、笑えないけど新しい発見だと思うんだよね。（ちょっと前説みたいになったけど）

今回はもう少し書きたかったんだけど、こんな感じ。

どうかな？



## はみだしウマシカさん その20

どうも。考える漫才です。

漫才の客になりたい。

応募したら？

いや、ただの客じゃなくて、ちゃんとした客になりたい。

ちゃんとした？

漫才を正しく、ちゃんと観れる客として、隣の客をよく教育できる客になりたい。

隣の客をよく教育する客だ？

そう。隣の客をよく教育する客のプロになりたい。

客は素人だと思うけど。隣の客を教育する客って、ストップウォッチを全員分、客席に配るとか？

全員の客が4分測る？ その発想は隣の客を教育する客の素人だ。よく考えて。♪ゴゴゴゴゴ、って出囃子で降りてきて、客が全員ストップウォッチ持ってたなら、漫才師、どうする？

意識し過ぎて2分で終わりそうだね。じゃ、大声でよく笑うとか？

それも客の素人だね。すぐ笑っちゃだめ。漫才師は真剣にやってるんだから、まず、生い立ちを知らなきゃいけない。

漫才師の？

そう。人となり。それからネタの生い立ちも。

ネタの？

このネタはどう生まれて、どう修正されて、どう完成したか。漫才師とネタの生い立ちを知らないと、ちゃんとしたネタをよく受け止める客にはなれない。

それを隣の客にも教育するの？

笑い声の雰囲気だね。全ての生い立ちを、隣の客にもよく伝わるような笑い方をしないと、隣の客をよく教育する客のプロにはなれないから。

ただ笑う客は素人なんだ。

当たり前。それにネタを囁むとか、漫才師が意図しない部分、笑われたら不本意な部分では笑わない。失礼だから。ネタの腰を折るから。

ネタに腰があるんだね。

そう。ここで笑ってほしいって漫才師が意図してるタイミングで、次のボケにかぶらないように素早く笑う。笑いすぎてはいけない。漫才のペースが崩れるから。拍手も長くなりすぎないように。ネタの邪魔になるから。



客って緊張するね。

緊張して。当たり前。でも緊張し過ぎないで。漫才の邪魔になるから。客が緊張し過ぎると漫才師にも緊張がうつるから。節度を持って緊張して。

邪魔しない程度にね。

あとキモいネタでも悲鳴をあげないで。嘘だから。漫才師が欲しいのは悲鳴じゃなくて笑いだから。それでキモい嘘ついてるだけだから。

嘘なんだ。

信じないで。漫才なんて全部嘘だから。漫才師なんてみんないい加減な生い立ちで嘘ばっかついてんだから。そういうことを知っていれば、ちゃんとしたネタの腰で笑えるから。

はははは。

そう。ちゃんと腰でよく笑えるようになったね。じゃ、次の漫才考えるから、あんたとはやっとなんわ。

どうもありがとうございました。

---

考えるウマシカ～第七十二回 『天間荘の三姉妹』と考える漫才～

---

著 弦楽器イルカ

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---